



< 運営推進会議における評価 >

【事業所概要】

法人名	医療法人 エイチ・エス・アール	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護末吉
所在地	(〒903-0801) 沖縄県那覇市首里町 2-95-4		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

地域と共に医療・介護の協働連携で、笑顔の絶えないチーム作りを目指します。いつでも、誰にでも丁寧な対応と言葉使いをこころがけ、通い、泊まり、訪問介護、訪問看護を實踐し、住み慣れた地域で、利用者みなさんが心豊かに、最期まで住み遂げられるように支援します。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2022年 10月 24日	従業者等自己評価 実施人数	(16) 人	※管理者を含む
----------------	------------------	------------------	--------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2022年 11月 17日	出席人数 (合計)	(11) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (3人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 (1人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (2人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (2人) <input type="checkbox"/> 利用者 (0人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (0人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (2人) <input type="checkbox"/> その他 (1人)			

15. 看護
末吉

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	今年度より様式変更になったため、「前回の改善計画の「進捗評価」は空白となっています。		
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)		
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)		
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)		
III. 結果評価 (評価項目 42～44)			

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)</p>	<p>介護段位制度の導入を実施し、介護職員の質向上に向け取り組んでいることがわかる。 勉強会も積極的に行っているが、専門分野だけでなく、事務系の研修なども取り入れると良い。 申し送り方法や情報共有方法は、新規電子カルテを導入することで、改善に向かうことに期待する。 人員不足に対しては、行政の協力も視野に入れ、改善していくと良い。</p>	<p>業務効率向上・情報共有の課題へ取り組み、サービスの質向上と職員のライフワークバランスを遂行する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規電子カルテの導入 ① 記録時間や帳票作成時間の短縮 ② 情報共有方法の改善 ③ 超過勤務の対策 ・人員不足の改善 ① 法人の取り組みでもある、シェア体制の活用 ② 那覇市への相談や助言を受ける 	
<p>II. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p>	<p>看取りの事例が多数あり、施設の強みである。 利用者の状態や家庭環境に柔軟に対応している。</p>	<p>在宅看取りの強化継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 看多機独自の看取りマニュアルを作成する <p>BCPの策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ① BCP作成(新型コロナ・災害)の外部研修参加
	<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<p>運営推進会議への職員参加を実施し、地域理解を深められるよう計画を立てている。 地域包括システムについての勉強会を、定期的にも実施することも計画すると良い。</p>	<p>地域ケアシステムの理解を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 運営推進会議への職員参加 ② 地域包括システム勉強会の開催 <p>参加する職員は役割を持つ(身体拘束・高齢者虐待委員会報告・事故報告・ヒヤリハット報告)</p>
	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)</p>	<p>利用者家族が、法人の初任者研修を受講するなど、法人の強みもある。地域住民に、もっと広げられると良い。 地域住民向けの介護勉強会など開催し、地域の介護力を引き出す取り組みを行ってほしい。</p>	<p>地域の方の介護力を引き出す取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域に向け、法人が実施している初任者研修の啓蒙活動を実施する。 ② 地域住民を対象とした介護勉強会の開催 <p>利用者さんが、地域の方と交流できる機会をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 移動スーパーや図書館等

<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)</p>	<p>長期連泊者は無くサービス提供できている。在宅看取りの強みを今後も継続し、訪問サービスの充実を期待する。</p> <p>情報共有の課題に取り組み、サービスの質向上に向け、取り組んでください。</p>	<p>医療が必要な利用者・利用者家族に対する在宅サービス（訪問）の強化</p> <p>① 家族からのフィードバックの共有方法の改善</p> <p>② 訪問看護による家族との関り</p> <p>訪問サービスの十分な提供が行える人員体制の整備</p>
---------------------------------	---	---

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	5	9	1	1	評価：おおよそできている	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している		14	1	1	評価：おおよそできている ・地域包括システムについての勉強会を定期的実施してはどうか？	✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
						[具体的な状況・取組内容] ・①～⑤にあてはまる利用者受け入れしている ・法人理念があり、掲示している 事業所として、独自の方針をかかげている	
						[具体的な状況・取組内容] ・看多機というサービスの特徴をふまえて、利用者への柔軟なサービス提供している ・法人理念は理解できている ・「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」は、マンパワーの問題もあり、定員ちかくに受け入れできていない ・「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		の維持回復」は実施されている ・「⑤地域包括ケアへの貢献」は職員理解も 低く、具体的な実施が出来ていない					
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している		12	1	3	評価：おおよそできている ・積極的に研修を実施されていると思います。 ・介護段位制度の導入は良いと思います。 ・職員ごとの計画書を作成すると良いと思います。	✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・介護職段位制度の導入の研修を計画している ・喀痰吸引等指導者資格を習得中 ・所長にて計画されているが、職員との話し合いが十分にできていない ・喀痰吸引等は計画され受講しているが、受講者の意識の低さや業務におわれることで受講時間がのびて計画通りにすすまない ・育成計画として実務者研修、喀痰吸引等関連、認知症実践者研修を実施したが、計画（予定）の、スタッフ周知が不十分だった ・各職員が目標を持ち、事業所のバックアップがある					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	3	11	1	1	評価：おおよそできている ・介護業界では、パソコンスキルの課題を良く耳にします。専門分野の研修は勿論ですが、事務系の研修なども取り入れてみてはどうでしょうか。	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	1	7	8		評価：あまりできていない ・情報共有の改善策をいろいろ実施している様子はいかがかわれます。申し送り方法ですが、電子化よりも、昔ながらの紙ベースの方法の方が、効率的かもしれないと思います。	✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・日々のミーティング、ショートカンファレンス（朝・夕などの空き時間）を実施しているが、情報共有がうまくいかない、色々と改善策を実践しているが、継続できない現状がある ・新規カンファレンスの共有はできるようになっている ・個々での情報共有はできているが、全員が参加できるミーティングの時間を確保するのが困難（日々の業務をこなすのが精					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		一杯) ・各申し送り、業務日誌、白板の活用、指示棒による看護の情報共有など工夫はしているが、その場にいた者だけで共有することが多く、職員自身が自ら情報を得るために動く姿勢や意識が低い ・月1回定例ミーティングを実施している					
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	3	8	5		評価：おおよそできている 運営推進会議の職員参加は良いと思います。	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・会議の内容の報告や議事録で、周知され共有されている ・得られた要望・助言がスタッフ間で共有できていない ・運営推進会議が何か理解できていない ・スタッフが会議に参加できる機会をもうけられなかった					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている。	3	5	8		<p>評価：おおよそできている</p> <p>・人員不足に対し、法人内で、工夫がされていますが、人員不足に対しての困りごとがあれば、那覇市も協力できることがあると思うので、相談ください。</p>	<p>✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます</p>
		<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・超過勤務に対する取り組みを実施 ・法人から資格習得の支援 ・施設清掃の時間の確保が難しい ・超過勤務になることが多い ・人員不足を感じる ・職員の休憩場所が不十分、トイレが利用者と共有、トイレに入りそびれる ・何でもできる（各サービス）スタッフに業務が集中し負担が大きい ・休日の希望を確認してのシフト作成をしてきている ・パート職員の活用をしての労務軽減に取り組んでいる 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	1	6	9		評価：あまりできていない ・自事業所では、情報共有方法として LINE を活用していますが、情報量が過剰になる。休みの時でも情報が流れてくるなど、課題もあります。運用方法をしっかりと定めれば、便利なツールではあります	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	3	9	3	1	評価：おおよそできている	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	5	9	2		<p>評価：おおよそできている ・訓練は実施されています。 地域住民の訓練参加は、どの事業所も苦勞しているようです。</p>	<p>✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の連絡体制の作成 ・連絡先リストの作成 ・避難訓練や緊急時マニュアル作成 ・災害訓練を年2回実施 <p>近所の人と協力している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風接近時のサービス調整し、家族・利用者に安心してすごせるよう調整されている ・災害時のケアのマニュアルは作成されていない 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
II サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	2	13	1		評価：おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている		8	8		評価：おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	6	10			評価：おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族の要望も含めた計画書・報告書を作成している ・ 家族の考えだけでなくいかに本人の想いを引き出すか（推察するか）を大切にしている。意図的に家族の話も傾聴している 					
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	2	10	4		評価：おおよそできている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残存機能を活かしたケア実践をしているが、個別ケアとして、計画への位置づけが、利用者全員に出来ていないと感じる ・ 意識しているが不十分 					